

19日午後 (12:50-18:30)

	12:50	山崎剛 (東北大学)	趣旨説明
1	13:00	早崎将光 (日本自動車研究所)	東アジア冬季モンスーンの季節進行とその将来変化
2	13:20	山田賢 (気象庁)	東北地方の気候の変化と将来予測
3	13:40	溯上隆雄 (気象庁 仙台管区気象台)	東北地方における極端な短時間強雨の変化
4	14:00	川添祥 (JAMSTEC)	d4pdfを用いた東北地方における極端な低温の将来変化予測
5	14:20	佐々井崇博 (東北大学)	SI-CATプロジェクトにおける力学DSデータセットの構築
休憩(15分)			
6	14:55	川合秀明 (気象庁 気象研究所)	CMIP5マルチモデルデータにおける温暖化時の北太平洋の海霧変化
7	15:15	島田照久 (弘前大学)	青森県周辺の洋上風況
8	15:35	松岡悠太 (イー・アンド・イー ソリューションズ株式会社)	再生可能エネルギー分野における気象情報の利用
9	15:55	大竹秀明 (産業技術総合研究所)	東北地方における太陽光発電の発電量出力推定
10	16:15	遠藤伸彦 (農研機構 農業環境変動研究センター)	NHRCMにおける地表面日射量の再現性評価
休憩(15分)			
11	16:50	池田翔 (東北大学)	農作物病害予測情報の支援に向けた宮城県における週間葉面湿潤度予報
12	17:10	下田星児 (農研機構 北海道農業研究センター)	北海道小麦・ばれいしょ収量減少の気象的要因
13	17:30	石郷岡康史 (農研機構 農業環境変動研究センター)	気候変動による水稻収量および品質の広域影響評価
14	17:50	大久保さゆり (農研機構 東北農業研究センター)	過去の気象データによる水稻栽培の意思決定支援
15	18:10	菅野洋光 (農研機構 農業環境変動研究センター)	イネ葉面濡れ時間の相対湿度を用いた推定方法 (その2)

懇親会: 19日19:30~21:30、場所: おでん三吉(022-222-3830、仙台市青葉区一番町4丁目10-8)、会費: 5000円 / 1人

20日午前 (8:55-12:00)

16	8:55	萱場互起 (気象庁)	気象予測値を用いたカンシャコバナネガカメムシの防除適期予測の精度検証
17	9:15	吉田龍平 (福島大学)	気候変動に伴うコメ収量の安定性の評価
18	9:35	眞崎良光 (弘前大学)	東北地方における作物生育と晩霜害の将来予測
休憩(15分)			
19	10:10	谷田貝亜紀代 (弘前大学)	ヤマセデータベース構築と2017年の特徴
20	10:30	大久保忠之 (気象庁 仙台管区気象台)	2017年夏のヤマセについて
21	10:50	戸川裕樹 (気象庁)	2017年7月末~8月中旬のヤマセ発生時の循環場の特徴
22	11:10	舩井博一 (弘前大学)	d4PDFを用いたヤマセの再現性評価と将来変化
23	11:30	岩崎俊樹 (東北大学)	ENSOと寒気流出
	11:50	山崎剛 (東北大学)	研究会の今後について、他